

祝！海田町立海田小学校150周年 ～お寄せいただいた海田小学校の思い出～

織田幹雄先生を記念して国旗掲揚台が設置され、その落成式が開催されたのが、私が6年生の時の昭和39（1964）年9月26日でした。この落成式には、織田幹雄先生もお越しくださり、鼓笛隊のパレードなどもして、みんなで盛大にお祝いしたのが思い出されます。その時の様子は当時の卒業アルバムに掲載されています。

当時の校舎は、国道2号線の側に木造2階建てで建てられており、職員室と講堂が今の体育館側に建てられていました。その頃に今の図書室や理科室などの特別教室棟が完成し、新しい特別教室で授業をしたのも思い出です。

曙町在住 平岡好一

海田小学校といえば、私の母校です。まさか、自分の子供も同じ母校へ通うことになるとは、思ってもみなかったです。

私の海田小学校の思い出は、楽しいことばかり！！毎日校庭を走り回って鬼ごっこをして、息を切らした毎日が懐かしく思い出されます。子供の入学式で効果を歌った日には、感慨深いものがありました。私は、当時足が速く織田幹雄陸上大会のリレー選抜に選ばれて、毎朝の早朝練習は少しキツかったのですが、選ばれた分、誇らしい気分で、運動場を駆け抜けた日々は、自分の中でとても良い思い出となって残っています。男子は、全国大会へ、女子は判定負けで惜しくも2位に！輝かしい日々でした。

息子にも、毎日楽しく通ってもらい、友達と目いっぱい校庭を駆け回り走る楽しみ、友達とのルールある遊びなど、自分たちで考えて遊ぶ、関わりあうことの喜び、楽しさをどんどん見つけていってほしいなと思います。

M.K

通学路で並ぶ我が子を眺めていると、自分の幼少期と重なる。晴れの日、雨の日、暑い日、寒い日、毎日が楽しい訳ではなかったが、小学校生活の中で大切な仲間と出会い、雨の日には傘と一緒に入って学校の先生の話で盛り上がり、暑い日には太陽を避けるように帰って、普段より遅くなってしまい、母に怒られてしまったものだ。

自分の娘が小学校に通い、同じ校舎、グラウンドの中で何を感じながら仲間と思い出を作るのか、素敵な物語のページを1ページずつ心につむいで欲しいと思っています。

娘は、今日も元気に「いってきます」と玄関から駆け出した。

北島弘之

私は、昭和17年に海田小学校に入学。当時は下駄、草履、雨・雪降りの日は長靴で通学していました。運動靴を履いている生徒は2～3人でした。（昭和23年に卒業、海田中学校に入学）校舎は木造二階建てで国道側、現国旗掲揚台の所がありました。校舎の東側に音楽室、階中央右に教職員室がありました。瀬野川、中店橋土手からは一面畑、田園でした。また、正門近くには御真影、二宮金次郎の銅像があり、毎朝手を合わせていました。

昭和20年8月6日、広島原爆投下当日午後からは、広島からの傷病者が校舎音楽室に運び込まれ、手当を受けている負傷者には亡くなる人も多く、私は大八車に亡くなった人を4～5人乗せて、瀬野川土手、船越日本製鋼所の近くで茶毘の手伝いをした記憶が、今、なお頭に焼き付いています。

山岡崇義

男の子と女の子が仲良しだなあと思いました。放課後のグラウンドや下校時など、高学年の子達も、男の子と女の子みんなまで遊んでいたりと、楽しそうに会話しながら帰ったりしている姿をよく目にします。

堀田恵美

50年前は、集団登校もなく、生家が海小裏門近くにあったので、チャイム音を聞き登校していました。学校が終わると、毎日校庭（グラウンド）でソフトボールをやったものです。校舎も全く建て位置が変わり、面影はありません。

現在のプールは我が家の家の畑と田んぼでした。教室から母の姿が畑にあったので、当時は百姓がイヤで、宿題を学校でやり、遅く帰ったものです。今思えば「すまないな」と思っていますが、遅すぎです。

学校と言えば、校歌ですが、今なお78才になっても覚えていて歌えます。

毎朝、子供（生徒）を見れば、元気をもらった気持ちになります。しかし、高学年いや中学生にもなれば、物を言ってくれなくなるのはどうしてでしょう？私はいいい年となりましたが、少しでも長生きして子供とふれあいたいものです。

森川貴生

家が海田小に近いため、運動場は毎日の遊び場でした。大きい子から小さい子まで、学校近くの子供たちは、帰るとすぐに学校に集って、遊んでいました。今の給食室あたりに講堂があり、講堂が建てられる時、工事が始まるとたくさんの遺骨が出てきたと聞いたことがあります。原爆で行き倒れになった方々の火葬が、運動場で行われたそうです。瀬野川の土手には広島市内から東へ向かって家に帰ろうと逃げてきた人達がたくさん倒れていたそうです。今後、決してあってはいけないと思います。

かつては、子供会活動も盛んで、年中、地域行事があり、ドッジボール大会、盆踊り、子供神輿奉納、廃品回収（子供たちで集める）、七夕祭り、亥の子祭り、校区運動会など盛りだくさんで、子供会のみんな仲良しで、楽しい思い出で、我が子の時は、親も子供も楽しく頑張りました。

N.T

今年から小学校に入学しました。最初の頃は安全面や友達関係など色々な不安があり、朝の登校時もしばらくの間は毎日様子を見てから出勤していました。今では日々楽しそうに学校生活をおくっている我が子の姿を見て、とても安心しています。

出村明宏

なれていない環境、言葉も分からなく不安だったが、少しずつ日本になじむことができ、同じクラスの友達と一緒に遊んだおにごっこが特別に感じられた。

林ノリ

大休憩や昼休憩にグラウンドや遊具で遊んでいました。今はなくなりましたが、当時我々は「総合遊具」と呼んでいました。そこで、鬼ごっこや陣地取りなどをしてよく遊んでいました。壁当てやブランコ、掲揚台のまわり、学校全体を使って遊んでいたのが懐かしいです。

濱元綾太

元プロ野球選手の小早川毅彦さんが来たこと。とてもかっこ良かったという思い出があります。帰り際に児童に囲まれていたのが印象的でした。

K.K

在校中に委員会としてお昼の放送をしようとしており、練習としてマイクを持って適当にしゃべっていたら、マイクがつながっており、それが学校みんなに聞こえ、先生に怒られてしまったことは、今となってはいい思い出です。

小谷優太

私が小6の時、運動場にピカピカの国旗掲揚台が設置されました。アムステルダムオリンピック三段跳びで金メダルを勝ち取られた織田幹雄さんと同じ海田小学校に通うことを誇りに思い、胸が高まったあの日が思い出されます。

1965年卒業 M.T

小学校時代，大休憩，下校後も決まって運動場で外遊びの毎日を過ごしていました。社会人になった今でも身体を動かす事に喜びを感じています。その礎を築いてくれた海田小学校に感謝しています。

1996年卒業 M.D

私は海田小学校の卒業生です。

いろんな思い出がある中で，一番心に残っているのは，クラブ活動です。私は，当時バンドクラブに入部していて，クラリネットを担当していました。放課後や夏休みに，バンドクラブの皆と一生懸命練習したときのことをよく覚えています。なかなか音が出ず，悔しい思いをしたこともありましたが，運動会や発表会で演奏した時の嬉しかった気持ちは，今でもよみがえってきます。

そして，今，我が子がバンドクラブの一員となり，ドミソ発表会に向けて一生懸命クラリネットを練習している姿を見て，とても感慨深いです。これからも，子供たちが心を一つにして学んでいけるバンドクラブが続くことを願っています。

I.M

海田小学校の給食は美味しいと当時から評判でした！子供ながらに楽しみだったのは「お楽しみ献立」（名称はあっていないかも知れませんが）学期末とか，年に1・2回くらいだったと思いますが，4つの献立から全学年投票制で決めた気がします。自分が選んだ献立に決まったときはすごく嬉しくて，その日が来るのが待ち遠しかったです！

学区毎に分かれて年一回行われていた「町民運動会」が楽しみの一つでした！大人の方の全力で走る速さに圧倒されたり，小学校の運動会とはまた違った楽しさがあったりしました！自分が6年生の時の最後の開催で所属している学区が優勝できたのも良い思い出です。

為数周吾

それは、私が海田小学校4年生の時でした。毎年、海田小学校にある桜の木は、初々しい新入生を歓迎するかの様に満開になり、在校生の私も新入生を見て少し大人になった気がしていました。それから2か月後、桜の花も散り梅雨に入る前の6月頃の昼休憩中、校庭で遊んでいた時、ふと、桜の木に目をやると、真っ赤で丸々としたサクランボがなっていたのです。ちょうど正門を入った左手の桜の木です。試しに1つ取って食べてみると、家で食べる何十倍も甘く、おいしく感じる反面、給食以外で何かを食べる背徳感とが入り交りながらもまるで宝物を見つけたかの様な興奮を今でも覚えています。

授業中、あのサクランボは、食べてよかったのか？なぜ今まで気づかなかったのか？なぜあの桜の木だけサクランボがなるのか？色んな思いが頭の中でグルグル回り、サクランボの事で頭が一杯でした。授業が終わり、下校時間になると、誰よりも先に、そして慎重に教室を出て一目散にあの桜の木に向かい黄色い帽子一杯にサクランボを入れて口いっぱい頬張りました。その時、背徳感の表われかの様に、ふと、この幸せをお母さんにもおすそ分けしたいと考え、また黄色い帽子一杯にサクランボを入れて帰ることにしました。

案の定、あまりの美味しさに下校の道中、まだ沢山あると考え、一つだけならいいだろうと食べ始めてしまったのです。この調子で、もう一つだけ、もう一つだけ、これが最後の一つ……。気づけば残り5つ。断腸の思いでこれだけは残そうと、食べたい気持ちを我慢し持ち帰り、お母さんに二つあげました。三つはお母さんと一緒に私が食べました。

翌年から、海田小学校産のサクランボが初めて給食で出るようになったのは独り占めしたバチがあたったのだと反省しつつも、既に昨年食べた経験がある事が少し自慢げだったのはここだけの話です。

先生方にご指導頂き、様々な経験をさせて頂いた事が今の財産になっております。本当にありがとうございます。この先も海田町の学び舎として未永く子供たちを導いてくださいます様、よろしくお願い致します。

栗原健造

昭和58年より、昭和町に住んでいます。

- 「昔のあそび」で竹馬の指導をしています。(海田町シルバー人材センターより派遣)
- 「環境学習」(地球温暖化防止)の講師(令和4年まで:海田町地球温暖化防止対策地域協議会)
- 「シンポジウム」のパネリスト(地域代表:平成19年)
- 「豊かなコミュニケーションづくり」の基調講演とワークショップ(平成20年)
- 「あいさつ運動」平成14年、海田町あいさつ運動(町、商工会主催)のメインイベントとして鈴木健二講演会が開催され、大変な盛り上がりでした。「あいさつは いつもえがおで 私から」この標語が町長賞でした。

～平成19年より海田小学校の校門前であいさつ運動を始めました。「校門の前のおじいさん」ということで、3年生の「道徳の時間」に紹介をしていただきました。以来、本年で17年目、毎朝、300名の児童や30名の道行く町民の方にとあいさつを交わし、「あいさつ日本一」を目指して参ります。

広瀬俊明

私達の頃は、木造校舎で長い廊下があり、走らないように注意書きがありました。学校給食が4年生の時からは始まったのですが、牛乳ではなく脱脂粉乳で、よく焦げ臭いにおいがして鼻をつまみ飲んでいました。裏門の横に宿直室があり、夏休みには担任が宿直の日泊まりに行き、夜の校内探検をしたことを覚えています。

我々は団塊の世代で生徒数が多く、1クラス50名ぐらいいて、6年生くらいだと、教室いっぱいになっていました。6年生の時は教室が足りなくなって、図書室が教室となり、中学受験を目指していた仲間と放課後勉強していました。運動会の前、全校で草取りや石拾いをやっていて、穴を掘っては埋めていましたが、校庭から銃などが出て警察が来たこともあります。後、アメリカ等のヘリが不時着したことも。

多田雄一